

2 0 2 2 年 度

事 業 計 画 書
収 支 予 算 書

資金調達及び設備投資の見込みについて

公益財団法人 相模原市民文化財団

※各施設名称について：本文中で使用する各施設の名称は以下の名称を使用

- ・【相模原市文化会館】 文化会館
- ・【相模原南市民ホール】 南市民ホール
- ・【小田急相模原駅文化交流プラザ】 おださがプラザ
- ・【杜のホールはしもと】 杜のホール
- ・【相模原市立城山文化ホール】 城山文化ホール

2022年度 公益財団法人相模原市民文化財団事業計画

1 基本的な考え方

当財団では、より多くの人々に文化芸術を提供するという文化財団の使命の下、2020年4月に策定した中期計画において基本目標を定め、計画終期の2027年度末までに段階的に達成するために、各目標における施策に基づき取り組むこととしている。また、今期指定管理者の提案においても、市民が文化を「身近なもの」と感じる運営を行い、「文化があたりまえにある街」の実現を目指すことを提唱している。

しかしながら、今日においても、新型コロナウイルス感染症の影響により先行きが不透明な状況が続いており、文化施設が現代社会において求められている、地域コミュニティの拠点となる「新しい広場」の役割やアウトリーチ事業の実施については、状況を見極めて各事業の実施可否を検討するとともに、実施する場合には、適切な感染症対策に取り組んだ上で行う必要がある。

そうした実状を踏まえ、2022年度は、以下に掲げる基本的な考え方、各事業の考え方に基づき運営を行い、引き続き相模原市の文化振興に寄与することを目指すこととして事業計画を策定する。

また、2022年度は、定年退職となる正規職員がいることから、今後の組織体制についての方向性を定め、安定した組織体制の維持に向けて取り組む必要がある。更には、今期指定管理期間の4年目であるため、応募時における提案事項の履行状況を再確認するとともに、次期指定管理者応募に向けた準備を進める。

① 地域コミュニティの拠点となる文化施設へ

「文化芸術基本法」の趣旨に則り、より多くの市民が文化を身近に感じ、楽しむことができるよう、事業展開を図る。また、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」に基づき文化施設の役割を果たすべく、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、文化芸術活動を継続し、街のにぎわいづくりに寄与する。さらに文化施設にて行う文化芸術を通して、次世代の担い手育成、地域コミュニティ活性化、孤立防止など、コロナ禍においても持続可能でよりよい社会を目指すSDGsの実現を見据えた地域社会の拠点として貢献する。

② 施設の特徴を活かした管理運営

施設の特徴を活かすことを念頭に設定したそれぞれの管理運営方針（指定管理事業計画書より）に基づき、市民の様々な鑑賞ニーズに応えるための事業を展開する。

【管理運営方針】

文化会館：「輝き」～シティブランドの牽引役～

南市民ホール：「親しみ」～市民に愛されるホール～

おださがプラザ：「交流」～市民が参加し交流する場～

杜のホール：「創造」～文化を創造する拠点～

城山文化ホール：「集い」～地域に根ざした文化活動の場～

③ 事業を3つの目的に区分しバランスよく実施

実施事業の目的にあわせ、「鑑賞型事業」「普及型事業」「育成型事業」の3つの目的区分に分類し、施設の特徴にあわせ、各区分の事業をバランスよく展開する。

鑑賞型事業…優れた舞台芸術の提供や、市民の鑑賞ニーズに応えることを目的とする事業
普及型事業…文化の裾野の拡大や、新たな文化事業との出会いを目的とする事業
育成型事業…市民自らが行っている芸術文化活動の支援や、市民が参加するワークショップ、
講座形式の事業を通じて、文化の担い手を育てることなどを目的とする事業

④ 未来を担う子どもたちに向けた取組

未来を担う子どもたちが文化芸術を通じて豊かな心を育む機会として、子ども向け、ファミリー向けの鑑賞事業を積極的に実施するとともに、教育の現場で事業を展開し、芸術文化の楽しさや素晴らしさを体験することができる機会を提供する。

2 市民の生活文化及び芸術文化の振興に関する事業

2-1 文化事業の取組 ※具体的な事業名は「8 2022年度予定事業一覧」に記載

(1) 本部事業

① より多くの市民が文化芸術に触れることができる事業

「相模原薪能」など市民に定着している上質な公演を、無料又は低価格な料金設定で実施し、より多くの市民が気軽に文化芸術に接することができる機会を提供する。

地元のラジオ局が制作するクラシック音楽の紹介番組について、引き続き選曲等の制作協力を行い、市民がクラシック音楽に触れる機会を提供する。

② 子どもたちが新しい文化芸術と出会うきっかけになる事業

多くの子どもたちにとって新しい文化芸術と出会うきっかけとなるよう、アーティストと小学校に出向き、近い距離でクラシック等の鑑賞・体験ができる事業を実施する。又、この2年で培った新型コロナウイルス感染症対策のノウハウを生かし、感染状況を考慮しながら、昨年まで中止となっていた子ども向けワークショップを開催する。

③ 中学生を対象としたキャリア教育関連事業

相模原市教育委員会と連携し、2020年度から実施している中学校でのキャリア教育関連事業に継続して取り組む。文化芸術鑑賞と同時にキャリア教育に関する話を行うことで堅苦しさなく心に響く内容で子どもたちに多様な価値観を提案する。

④ 城山文化ホール開館10周年を記念した事業（特別事業等準備金充当事業）

本部事業として特別事業等準備金を活用し、城山文化ホールの開館10周年記念事業を実施する。

⑤ 地域大学との連携事業

地域大学と連携し、伝統文化に触れる機会の提供及び文化の裾野拡大を図ることを目的とした相模原薪能の関連講座を実施する。

⑥ 相模原市と連携して実施する事業

相模原市主催の街かどコンサートの企画制作及び動画配信や、文化振興課のTwitter、YouTubeチャンネル「文化芸術のひろば」の運用協力を行うなど、相模原市と連携しながら会場に足を運べない市民にも鑑賞機会の拡大を図る。

(2) 指定管理施設事業

- ① グループ運営のメリットを活かした事業
指定管理施設のグループ運営のメリットを活かし、職員のノウハウの共有や、事業や広報において連携を図り、地域の活性化を促す事業を展開する。
- ② 「新しい生活様式」に対応した事業
コロナ禍においても文化施設の役割を果たすべく、新型コロナウイルス感染症防止対策を行いながら文化芸術活動を継続する。
また、地元さがみはらで、幅広い年代が楽しめ、無料・安価で鑑賞できる公演を実施する。

ア 文化会館

- ① シティブランドの牽引役となる事業
鑑賞型、普及型、育成型事業をバランスよく実施する中で、相模原のシティブランドの牽引役として、優れた芸術にふれる機会となる公演や、街のにぎわいやシティセールスに貢献する若年層に人気のあるアーティストの公演など鑑賞型事業を充実させる。
大ホールでは、市内最大の規模を活かした大型公演として、日本フィルハーモニー交響楽団相模原定期演奏会をはじめ、宝塚歌劇、劇団四季によるミュージカル公演など芸術性の高い作品から、娯楽性のある演劇公演などを幅広く行う。
また若年層に人気のある軽音楽ジャンルのアーティスト誘致を積極的に進め、来場者層の拡大に努める。
多目的ホールでは、小さな空間を活かしたライブ感を味わえる公演を実施する。
- ② アウトリーチ事業
新型コロナウイルス感染症対策を行い、文化の裾野の拡大や街のにぎわいづくりとして、近隣商業施設などで音楽を楽しめるコンサートを開催する。
- ③ 次世代を担う青少年の感性を育む事業
青少年を対象とした新たな育成型事業として、相模原音楽家連盟と協力し経験者向けの弦楽アンサンブルワークショップを実施する。
- ④ 市民団体の活動支援を目的とした事業
コロナ禍で活動を続ける市民の自主的な文化活動の支援を目的に、市民団体による定期演奏会を実施する。

イ 南市民ホール

- ① 気軽に文化に触れることができる事業
地域に身近な小規模なホールとして、市民に親しみを持っていただくことを目指し、普及型及び育成型事業を実施する。低価格又は無料の料金設定とし、気軽に文化に触れる機会を提供するとともに、ホールに足を運ぶきっかけ作りを行う。
- ② 南市民ホールの魅力を発信する事業
大人が楽しめる演劇公演、伝統芸能公演の実施にあたり、落ちついた雰囲気の中で役者や演奏者の息遣いが聞こえる距離感での公演を開催することで、南市民ホールならではの魅力を発信する。

③ 中学生の活動支援を目的とした事業

新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、相模原市教育委員会及び各中学校と連携を取り、未来の文化の担い手である子どもたちの発表や体験の機会を提供するため、参加型の舞台技術ワークショップ事業を実施する。

ウ おださがプラザ

① 市民相互の文化交流の場を提供する事業

駅直結という立地や、フラットな多目的スペースという施設の機能的特徴を活かし、子ども（乳幼児）とその保護者などを対象とした育成型事業の充実を図り、地域や市民の交流の場となる事業を実施する。

② 地域振興に貢献する事業

地元で活動するアーティストとの連携や、地域のイベントの関連事業を実施し、地域振興に貢献する。

③ 次世代を担う青少年の感性を育む事業

文化会館グループの連携事業として、青少年を対象とした新たな育成型事業である初心者向けの楽器体験ワークショップを実施する。

エ 杜のホール

① ホールの特徴を活かした事業

ホールの優れた響きや中規模ホール（535席）の特徴を活かし、クラシックでは古楽器を用いたりサイタル、また人気落語家や講談師による伝統芸能の優れた舞台芸術を鑑賞する機会となる事業を実施する。さらに、多目的室のフラットな空間を活かし、舞台と客席の距離が近いアットホームな雰囲気の実施する。

② 市民の文化活動を支援する事業

鑑賞型・普及型・育成型事業を実施する中で、特に市民の文化活動の支援を充実させ、市民が創造的な文化活動を行う拠点として、市民自らが参加して創りあげるステージやコンテスト、コンクール等を積極的に支援し、地域の文化振興に貢献する。

③ 地域との連携やアウトリーチ事業

自国の音楽文化への理解を深めることを目的とした子ども向けの三味線ワークショップ事業、また、市民の文化活動の支援や活性化のために地域の文化団体との連携事業等を行うとともに、ホール以外でのアウトリーチ事業を実施する。

オ 城山文化ホール

① 地域のニーズに応える事業

地域に根ざした文化活動の場として、より多くの市民が気軽にホールに集い、文化に触れることができるよう、無料又は低価格なチケット料金の普及型事業を中心に、地元で活動する市民の支援を目的とした育成型事業を積極的に実施する。

② 開館10周年記念事業

開館10周年記念事業として、ホール利用者が出演する事業や近隣住民に人気の高い落語公演など、地域の文化振興の発展に寄与し地域住民にニーズのある事業を賑やかに実施する。

③ 地域や利用者間の交流を深める事業

「城山夏まつり」にあわせて地元子どもたちや近隣の障害者施設の利用者を対象とした無料の映画会を実施し、社会貢献を図るとともにさらに親しみあるホールを目指す。

また、ホール利用者が参加し、交流を深める機会となる育成型事業を実施する。

2-2 その他の取組

① 託児サービスの実施

小さなお子様連れの方にも安心して公演をご鑑賞いただけるサービスとして、開場時間から終演時間までお子様を預かる託児サービスを、予約制、有料で実施する。

また、託児サービスについて情報紙Move等で積極的に広報し、利用促進を図る。

② チケット販売促進に向けた取組

主催事業のチケット販売促進を目的に、過去来場者のうち希望する方を対象としたダイレクトメールの送付を実施する。また、鉄道事業者との連携により、車内中吊り広告や駅構内のポスター掲示など、幅広く集客に向けたアピールを行う。近隣企業に対しては、団体販売の斡旋を行い、事業を周知するとともに販売促進を図る。

南市民ホール及び城山文化ホールで実施する主催事業については、利便性を高めるため、当該施設の窓口においてチケット販売を継続して行う。

③ 多角的な情報発信による事業周知

市内や県内のラジオ・テレビ・新聞・地域情報紙等、地元のメディアを活用し、市民に向けて事業の周知を図る。また、情報提供の対象が偏らないよう、紙媒体やSNSなど、地域や世代に合ったツールを活用し、多角的な情報発信を行い、事業周知を図る。

④ 効果的な事業実施のための仕組みづくり

独自の事業評価システムを定期的に見直し、今後の事業に反映させていく。また、来場者の声を把握するため、来場者アンケートを継続して実施し、市民のニーズに応えた事業を実施する。

財団事業のデータベース化を引き続き進め、組織全体で情報資産の共有化を促進する。

3 文化情報の収集及び提供

① 情報紙Moveの発行

実施事業について広く市民に周知するため、毎月1回情報紙Moveを発行し、新聞折込と市内施設への配架を実施する。また、新聞購読者数が年々減少していることを受け、新たな配架先や効果的な配布方法について調査及び検討を行う。

② チケットムーヴの運営

チケットムーヴを運営し、主催及び共催事業並びに貸館公演に関するチケットの電話予約、チケットカウンター及びチケットムーヴ.netでの販売を行う。各プレイガイドにおいては、電話予約及び窓口販売業務を終了しているが、市民ニーズがあることから、電話予約と窓口での販売を継続する。

③ チケットムーヴ.net会員に向けたサービスの充実

インターネット会員に向けたメールマガジンによる広域的な情報発信や、インターネット先行販売等を実施し、チケットムーヴ.netの利用促進を図る。また、販売方法をイン

ターネットに限定する公演が増加するなど、チケットムーヴ、net自体のニーズの高まりがみられることから、購入者情報などのセキュリティ強化を図るとともに、幅広い世代に利用を開始いただけるよう、よりきめ細やかなサービスを提供する。

④ ホームページ、Twitter等を利用した情報発信環境の整備

デジタルコンテンツを使った情報発信のニーズは今後もますます高まっていくことをふまえて、ホームページのリニューアルやターゲットを意識したSNSの活用等、財団が発信する媒体の環境整備を図る。

⑤ アーティストを紹介する事業

相模原市にゆかりがあり、財団事業において出演実績のある芸術家の情報を財団ホームページで公開し、市民の自主的な文化活動の支援を目的とした取組として、アーティスト紹介事業を実施する。

4 文化の振興に係る調査及び研究

① 学校行事等における文化芸術体験事業の実情調査

子ども向け事業の在り方を探るために、市内小中学校を対象に、学校行事等における文化芸術体験事業の実情について、引き続き調査を行う。あわせて教育現場で必要とされている文化芸術事業について調査を行う。

② アーティスト紹介事業の実施に関連した実情調査

紹介事業のより良い運営に活かすため、同様の事業を独自で実施している団体に、実績や課題などの実施状況について調査する。

5 文化施設等の管理運営

① 利用者ニーズの把握・利用者満足度の向上に向けた取組

快適で利用しやすい環境づくりに努めるために、利用者や来場者からのアンケートの結果や各施設ホームページのお問合せフォームから利用者ニーズの把握を行うほか、施設利用者との催物打合せ時などにおいても、管理運営に関するニーズの把握に努める。また、利用者や来場者からのご意見・ご要望を基に利便性向上を図るサービスに取り組む。

② 施設の老朽化・陳腐化に伴った修繕計画についての提言

施設を安心してご利用いただくため、設備や機器の日常管理を徹底し、予防保全を基本とする最適な機能維持に努める。

また、施設の老朽化や設備の陳腐化については、修繕提案等を積極的に相模原市に行う。

③ 利益還元事業の実施

2020年度の利益を指定管理者として市民に還元するため、利用者のサービス向上のための設備投資等、還元事業を行う。

④ 相模原市が行う文化会館修繕に対する施設管理者としての適切な対応

文化会館において2022年10月から予定されている空調設備更新修繕に対し、施設管理者として協力する。

⑤ 実践的な災害訓練の充実

文化会館においては、近隣小学校との合同避難訓練を継続して実施する。また、杜のホール及びおださがプラザにおいては、ビルの統括管理者と連携した訓練を継続して実施する。

⑥ 施設予約管理システムの再構築に向けた対応

施設予約管理システムについては、財団独自に再構築に向け取り組んでいたが、次期指定管理期間において相模原市が施設予約管理システムを構築する予定となったことから、稼働環境を維持するために相模原市へ働きかけを行う。

⑦ 伊勢丹跡地の工事に係る課題に向けた取組

伊勢丹跡地の工事期間における対応については、工事業者と定期的に情報交換を行うとともに、相模原市との情報共有を密にし、利用者への影響が最小限になるよう継続して取り組む。

⑧ 施設管理における新型コロナウイルス感染症対策

未だ感染症の影響が続いていることから、施設利用にあたっては、国や県、相模原市の利用条件に対応した感染拡大防止策「ホール等施設における新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」に基づき、利用者に安心してご来場又はご利用いただく体制を継続する。

施設内においては、アクリル板の設置など飛沫感染防止を図るとともに、催物の際には消毒液やタブレット型検温器を設置するなど、引き続き感染予防に取り組む。

⑨ 利用料金収入の確保

コロナ禍が原因とみられる施設の利用控えが生じていることから、イベントの誘致や市民利用の促進を図り、利用料金収入の確保に努める。

6 法人運営の取組

① 職員の成長に寄与する研修の実施

職員研修要綱に基づき、職種や経験年数に応じた研修を実施する。

市階層研修や全国公立文化施設協会の研修の他、市内外郭団体との相互研修等、例年受講している外部研修については、積極的な受講を推進し、公益法人の職員として必要な知識の習得を図るとともに、文化事業や文化施設の管理運営に関する専門知識や経験の向上を図る。

なお、コロナ禍での研修参加であることから、オンラインでの受講も推奨し、職員が受講する機会の創出を図る。

また、職場指導員制度を活用し、新規採用職員の育成を図る。

② 助成金・協賛金・寄附金等の外部資金調達の仕組みづくり

文化に対する理解を深めてもらうよう働きかけ、個人寄附金、企業からの協賛金の獲得に努め、自主財源比率の向上を図るとともに、相模原市からの補助金に関する懸案事項について、引き続き、財源の在り方を含め協議調整を進める。

③ 収支バランスを意識した事業実施

事業の目的と採算性を照らし合わせながら収支率の増加を図る。

④ 様々な団体との連携

全国の政令指定都市外郭団体で構成されている大都市文化振興財団等連絡会に参加し、

情報の交換をするとともに、県内の文化施設及び市内外郭団体等とのネットワーク強化を積極的に図る。

また、福祉関連団体と連携し、事業の関連業務を委託するなど、障害者が活躍できる場の創出を図る。

⑤ 労働環境の整備

労働諸法の趣旨に基づき、適切な労働環境を整えるとともに、「働き方改革」に関連して改正される労働諸法については、改正内容を踏まえ適切に対応する。特に、2022年4月1日から段階的に施行される改正育児・介護休業法に適切に対応する。

また、メンタルヘルスケアの取組としては、市内の外郭団体と連携して臨床心理士の相談が受けられる制度を継続して実施し、職員の心の不調の未然防止と活力ある職場づくりに努める。

⑥ ハラスメント防止に向けた取組

ハラスメント防止に係る雇用管理上の措置が義務化されることを受け、指針の施行や職員研修の実施など、法人として適切に対応する。

⑦ DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進及び税法改正に伴うシステム等の更新

昨今の社会情勢をふまえ、DXに係る運用制度の整備や設置から約15年が経過した施設間ネットワークシステムの機器等の更新に向けて検討を進める。また、税法改正に伴う会計システム等ソフトウェアの改修、更新等について協議調整を進める。

⑧ インボイス制度に向けた取組

2023年10月から開始される消費税のインボイス制度について、制度開始に向けて必要な事項について準備を進める。

⑨ さがみはらSDGsパートナーとしての取組

さがみはらSDGsパートナーとして、「文化芸術の振興から街の賑わいを創出」「質の高い教育を子どもたちに提供」「性別や障害の有無に関係なくイベント等に参加できるよう情報発信」を継続して実施する。

⑩ 環境配慮への取組

各事業の実施にあたっては、相模原市の環境方針を遵守するとともに、省エネ対策やエコ活動に継続して取り組む。

⑪ 職員体制の安定化

2022年度に定年退職を迎える正規職員が生じることから、安定した組織体制を継続するため、必要な施策を検討する。

育児休業中の職員が2022年度途中に復帰する予定であることから、それまでの間、代替要員の確保を行い、各種業務に影響ない体制を整える。

⑫ 法人運営における新型コロナウイルス感染症対策

職員に対する感染症対策として、職員間の一定の距離の確保や事務室内の換気をはじめ、変形労働時間制度の活用、時差出勤、昼食時間の分散によって事務所内の密集を避けることなど、勤務時や通勤における感染予防を徹底するように、注意喚起を継続して行う。

⑬ 次期指定管理者の応募に向けた準備

2024年度以降の期間における指定管理者の応募に向けて、準備を進める。

7 2022年度事業計画 事業回数一覧

※事業計画書に沿い、事業回数を記載。
※()内は2021年度事業計画書の回数。

(1) 鑑賞公演事業

	クラシック	軽音楽	演劇・舞踊	伝統芸能	その他	未定	計
財団本部	2	0	0	1	0	0	3
文化会館	7	9	17	3	2	0	38
南市民ホール	0	1	1	1	2	0	5
おださが プラザ	0	1	0	0	0	1	2
杜のホール	4	2	0	8	2	0	16
城山文化 ホール	1	1	0	2	2	0	6
合計	14 (17)	14 (21)	18 (14)	15 (12)	8 (5)	1 (1)	70 (70)

(2) 市民参加育成事業

	クラシック	軽音楽	演劇・舞踊	伝統芸能	その他	未定	計
財団本部	9	0	0	1	0	3	13
文化会館	10	0	0	5	0	0	15
南市民ホール	0	0	1	0	0	0	1
おださが プラザ	1	0	0	0	2	0	3
杜のホール	7	2	0	10	1	0	20
城山文化 ホール	6	0	0	1	2	0	9
合計	33 (33)	2 (2)	1 (1)	17 (15)	5 (9)	3 (2)	61 (62)

(3) 鑑賞公演事業・市民参加育成事業計

クラシック	軽音楽	演劇・舞踊	伝統芸能	その他	未定	計
47	16	19	32	13	4	131
(50)	(23)	(15)	(27)	(14)	(3)	(132)

8 2022年度予定事業一覧

【凡例】

目的区分

鑑賞型	優れた舞台芸術の提供や市民の鑑賞ニーズに応えることを目的とする事業
普及型	文化の裾野の拡大や新たな文化事業との出会いを目的とする事業
育成型	市民自らが行っている芸術文化活動の支援や、市民が参加するワークショップ、講座形式の事業を通して、文化の担い手を育てることなどを目的とする事業

会場

G大	文化会館・大ホール
G多	文化会館・多目的ホール
南ホ	南市民ホール
おださが	おださがプラザ
杜ホ	杜のホール・ホール
杜多	杜のホール・多目的室
IG	ミウヰ橋本・インナーガーデン
もみじホ	城山文化ホール
ギャラリー	城山文化ホール・ギャラリースペース

その他

★	城山文化ホール開館10周年記念事業
---	-------------------

(1) 本部事業

鑑賞公演事業

ジャンル	目的区分	催物名	会場
クラシック	鑑賞型	★もみじホール城山開館10周年記念事業 スギテツファミリーコンサート	もみじホ
	普及型	大人のための〈音楽〉鑑賞教室(木管五重奏)	G多
伝統芸能	普及型	相模原薪能(宝生流)	G大

市民参加育成事業

ジャンル	目的区分	催物名	会場
クラシック	育成型	学校訪問授業(音楽家連盟との協働によるアウトリーチ事業)	市内小学校 9校
伝統芸能	育成型	地域の大学と連携事業	相模女子大学
未定	育成型	中学生を対象としたキャリア教育関連事業	市内中学校 2校程度
		かんじる学校	未定

《参考》

受託事業

ジャンル	目的区分	催物名	会場
その他	普及型	街かどコンサート(イベント、動画)	市内各所
	育成型	相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら2022 表彰式・シンポジウム・レセプション	杜ホ・杜多

(2) 指定管理事業

① 文化会館

鑑賞公演事業

ジャンル	目的区分	催物名	会場
クラシック	鑑賞型	日本フィルハーモニー交響楽団 第19回相模原定期演奏会	G大
		日本フィルハーモニー交響楽団 第20回相模原定期演奏会	G大
		日本フィル夏休みコンサート2022	G大
		硬派弦楽アンサンブル「石田組」	G大
	普及型	相模原音楽家連盟コンサートNo.21「メンデルスゾーンの生涯」	G多
		クラシックを楽しむコンサート (2回)	G多
軽音楽	鑑賞型	フォレストコンサート	G大
		和楽器バンド	G大
		平原綾香 CONCERT TOUR 2022	G大
		ディズニー・オン・クラシック	G大
		masayuki suzuki taste of martini tour 2022	G大
		田原俊彦 2022コンサートツアー(仮)	G大
		若年層に向けたコンサート	G大
		GREEN & MAPLE SOUND CONNECTION Vol.13、14 (年間2回)	G多
演劇・舞踊	鑑賞型	劇団四季ミュージカル『ロボット・イン・ザ・ガーデン』	G大
		宝塚歌劇 全国ツアー 相模原公演(9回)	G大
		しまじろうコンサート しまじろうと うみの だいぼうけん(6回)	G大
		泉ピン子の「すぐ死ぬんだから」	G大
伝統芸能	鑑賞型	野村万作・萬斎 ～狂言への誘い～	G大
		歌舞伎公演	G大
		さがみはら能	G大
その他	普及型	相模女子大学プレゼンツ “シネマ&トーク” 金子修介監督	G多
		JAXAとの連携事業	G大

市民参加育成事業

ジャンル	目的区分	催物名	会場
クラシック	普及型	商業施設でのアウトリーチコンサート	市内商業施設
	育成型	第40回相模原市民交響楽団定期演奏会	G大
		さがみはらフィルハーモニー管弦楽団 第44回定期演奏会	G大
		相模原市合唱連盟「合唱祭」	G大
		NHK全国学校音楽コンクール(3回)	G大
		ジュニアのためのワークショップ 相模原弦楽アンサンブル(仮)	G多
		相模原市民吹奏楽団 第57回定期演奏会	G大
第40回相模原市民合同演奏会	G大		
伝統芸能	育成型	第151回～第155回 グリーンホール八起寄席	G多

② 南市民ホール

鑑賞公演事業

ジャンル	目的区分	催物名	会場
軽音楽	普及型	在日米陸軍軍楽隊コンサート	南ホ
演劇・舞踊	鑑賞型	白石加代子「百物語」アンコール公演	南ホ
伝統芸能	鑑賞型	柴田雅人 津軽三味線コンサート	南ホ
その他	普及型	名画鑑賞会(2回)	南ホ

市民参加育成事業

ジャンル	目的区分	催物名	会場
演劇・舞踊	育成型	中学生演劇「学びの輪」 中学生のための舞台技術ワークショップ	南ホ

③ おださがプラザ

鑑賞公演事業

ジャンル	目的区分	催物名	会場
軽音楽	普及型	おださがロードフェスタ前夜祭 おださがミニ・ライブ	おださが
未定	普及型	子ども向け事業	おださが

市民参加育成事業

ジャンル	目的区分	催物名	会場
クラシック	育成型	初心者向け 夏休み楽器体験ワークショップ	おださが
その他	育成型	おはなしワニーズ夏休み企画2022 「布えほん・布おもちゃでいっしょにあそぼ！」(2回)	おださが

④ 杜のホール

鑑賞公演事業

ジャンル	目的区分	催物名	会場
クラシック	鑑賞型	シリーズ杜の響きvol.46 宮田 大&福間洗太郎デュオ・リサイタル	杜ホ
		シリーズ杜の響きvol.47 川口成彦フォルテピアノ・リサイタル	杜ホ
		0さいからの絵本deクラシック プレーメンの音楽隊(2回)	杜ホ
軽音楽	鑑賞型	ジャミン・セブ コンサート2022(2回)	杜ホ
伝統芸能	鑑賞型	神田伯山独演会	杜ホ
		柳家さん喬・柳家喬太郎親子会	杜ホ
		本條秀慈郎 三味線演奏会	杜ホ
	普及型	第22回さがみはら若手落語家選手権 (予選会4回、本選会1回)	杜多、杜ホ
その他	普及型	冬の大きなおはなし会(図書館との共催)	杜多
		春の大きなおはなし会(図書館との共催)	杜多

市民参加育成事業

ジャンル	目的区分	催物名	会場
クラシック	育成型	相模原アンサンブルコンテスト 小学校・中学校・高校の部(2回)	杜ホ
		杜のホールはしもとアンサンブルコンサート	杜ホ
		全国プレバレエコンクールinさがみはら(4回)	杜ホ
軽音楽	育成型	橋本七夕まつりインナーガーデンLIVE(2回)	IG
伝統芸能	普及型	出前落語&グリーンホール八起寄席連携事業 (年間8回の出前落語と年1回のグリーンホール八起寄席への出演)	市内各所、G多
	育成型	三味線ワークショップ	杜多
その他	育成型	はしもとオータムフェスティバル	杜ホ

⑤ 城山文化ホール

鑑賞公演事業

ジャンル	目的区分	催物名	会場
クラシック	普及型	相模原音楽家連盟×もみじホール城山	もみじホ
軽音楽	普及型	在日米陸軍軍楽隊コンサート	もみじホ
伝統芸能	鑑賞型	★もみじホール城山開館10周年記念事業 城山落語会 瀧川鯉斗・春風亭昇々二人会	もみじホ
	普及型	しろやま寄席	もみじホ
その他	普及型	無料映画上映会 一般の部／障害者施設招待の部(2回)	もみじホ

市民参加育成事業

ジャンル	目的区分	催物名	会場
クラシック	育成型	ベヒシュタインを弾いてみよう(6回)	もみじホ
伝統芸能	育成型	城山郷土芸能祭	もみじホ
その他	育成型	★もみじホール城山開館10周年記念事業 もみじホール城山 市民ステージ	もみじホ
		フォトシティさがみはら アマチュアの部 受賞作写真展	ギャラリー

収 支 予 算 書

(正味財産増減計算書ベース)

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	130	130	0
基本財産受取利息	130	130	0
② 特定資産運用益	333	437	△ 104
特定資産受取利息	1	105	△ 104
文化事業基金運用利息	330	330	0
施設管理基金運用利息	1	1	0
特別事業等準備金運用利息	1	1	0
③ 事業収益	274,988	310,955	△ 35,967
生活文化・芸術文化事業収益	50,900	60,204	△ 9,304
文化情報収集提供事業収益	1,724	1,784	△ 60
受取施設利用料	215,797	241,637	△ 25,840
受取手数料	2,220	2,172	48
受取広告料	1,400	2,100	△ 700
共催事業収益	941	1,003	△ 62
受取参加料等	149	139	10
事業制作等受託収益	1,735	1,775	△ 40
受取事業物販手数料	122	141	△ 19
④ 受託事業収益	435,868	418,308	17,560
施設管理運営業務受託収益	435,868	418,308	17,560
⑤ 受取補助金等	73,009	80,245	△ 7,236
受取事業費市補助金	65,709	65,709	0
受取管理費市補助金	7,300	7,700	△ 400
受取文化事業助成金	0	6,836	△ 6,836
受取労働関係助成金	0	0	0
受取施設管理助成金	0	0	0
⑥ 受取負担金	41,916	42,266	△ 350
受取負担金	41,916	42,266	△ 350
⑦ 受取寄附金	610	1,215	△ 605
受取寄附金	100	100	0
受取協賛金	510	1,115	△ 605
⑧ 雑収益	1,921	1,865	56

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
受取利息	8	10	△ 2
雑収益	1,913	1,855	58
経常収益計	828,775	855,421	△ 26,646
(2) 経常費用			
① 事業費	898,179	926,649	△ 28,470
報 酬	78	4,704	△ 4,626
給料手当	187,662	184,240	3,422
賃 金	47,909	46,080	1,829
退職給付費用	9,080	3,614	5,466
福利厚生費	30,830	30,552	278
諸 謝 金	5,261	4,973	288
会 議 費	40	40	0
旅費交通費	501	501	0
通信運搬費	2,860	2,895	△ 35
減価償却費	3,294	3,043	251
消耗什器備品費	1,470	4,100	△ 2,630
消耗品費	10,571	10,461	110
修 繕 費	17,581	17,581	0
印刷製本費	3,424	6,533	△ 3,109
燃 料 費	104	104	0
光熱水費	104,650	105,400	△ 750
手 数 料	4,188	5,473	△ 1,285
委 託 費	444,447	472,300	△ 27,853
使用料及び賃借料	3,999	3,538	461
保 險 料	361	380	△ 19
租税公課	18,523	18,713	△ 190
支払負担金	643	578	65
雑 費	703	846	△ 143
② 管理費	14,392	15,671	△ 1,279
報 酬	2,119	2,213	△ 94
給料手当	1,438	1,360	78
賃 金	34	22	12
退職給付費用	185	74	111
福利厚生費	260	248	12
会 議 費	20	20	0
旅費交通費	4	4	0
通信運搬費	10	10	0
減価償却費	470	708	△ 238
消耗什器備品費	250	250	0
消耗品費	21	21	0
修 繕 費	500	150	350
印刷製本費	255	255	0
燃 料 費	125	125	0
光熱水費	0	0	0

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
手 数 料	120	100	20
委 託 費	7,000	8,600	△ 1,600
使用料及び賃借料	360	360	0
保 險 料	350	300	50
租税公課	100	80	20
支払負担金	621	621	0
交 際 費	50	50	0
報 奨 費	50	50	0
雑 費	50	50	0
経常費用計	912,571	942,320	△ 29,749
当期経常増減額	△ 83,796	△ 86,899	3,103
当期一般正味財産増減額	△ 83,796	△ 86,899	3,103
一般正味財産期首残高	488,828	575,727	△ 86,899
一般正味財産期末残高	405,032	488,828	△ 83,796
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	130	130	0
② 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 130	△ 130	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000	100,000	0
指定正味財産期末残高	100,000	100,000	0
III 正味財産期末残高	505,032	588,828	△ 83,796

収支予算書(正味財産増減計算書ベース)内訳表

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益 事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
	公1	収1			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	0	0	130	0	130
基本財産受取利息	0	0	130	0	130
② 特定資産運用益	332	0	1	0	333
特定資産受取利息	0	0	1	0	1
文化事業基金運用利息	330	0	0	0	330
施設管理基金運用利息	1	0	0	0	1
特別事業等準備金運用利息	1	0	0	0	1
③ 事業収益	246,908	29,424	0	△ 1,344	274,988
生活文化・芸術文化事業収益	50,900	0	0	0	50,900
文化情報収集提供事業収益	1,724	0	0	0	1,724
受取施設利用料	189,937	27,204	0	△ 1,344	215,797
受取手数料	0	2,220	0	0	2,220
受取広告料	1,400	0	0	0	1,400
共催事業収益	941	0	0	0	941
受取参加料等	149	0	0	0	149
事業制作等受託収益	1,735	0	0	0	1,735
受取事業物販手数料	122	0	0	0	122
④ 受託事業収益	389,214	46,654	0	0	435,868
施設管理運営業務受託収益	389,214	46,654	0	0	435,868
⑤ 受取補助金等	65,709	0	7,300	0	73,009
受取事業費市補助金	65,709	0	0	0	65,709
受取管理費市補助金	0	0	7,300	0	7,300
受取文化事業助成金	0	0	0	0	0
受取労働関係助成金	0	0	0	0	0
受取施設管理助成金	0	0	0	0	0
⑥ 受取負担金	41,632	4,838	404	△ 4,958	41,916
受取負担金	41,632	4,838	404	△ 4,958	41,916
⑦ 受取寄附金	610	0	0	0	610
受取寄附金	100	0	0	0	100
受取協賛金	510	0	0	0	510
⑧ 雑収益	810	110	1,001	0	1,921
受取利息	7	0	1	0	8
雑収益	803	110	1,000	0	1,913
経常収益計	745,215	81,026	8,836	△ 6,302	828,775
(2) 経常費用					
① 事業費	817,596	84,252	0	△ 3,669	898,179
報酬	78	0	0	0	78
給料手当	173,598	14,064	0	0	187,662
賃金	42,374	5,535	0	0	47,909
退職給付費用	9,080	0	0	0	9,080

(単位：千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益 事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
	公1	収1			
福利厚生費	28,659	2,171	0	0	30,830
諸 謝 金	5,261	0	0	0	5,261
会 議 費	40	0	0	0	40
旅費交通費	466	35	0	0	501
通信運搬費	2,675	185	0	0	2,860
減価償却費	2,952	342	0	0	3,294
消耗什器備品費	1,306	164	0	0	1,470
消耗品費	9,604	967	0	0	10,571
修 繕 費	15,471	2,110	0	0	17,581
印刷製本費	3,387	37	0	0	3,424
燃 料 費	92	12	0	0	104
光熱水費	92,162	12,558	0	△ 70	104,650
手 数 料	4,150	38	0	0	4,188
委 託 費	403,346	41,101	0	0	444,447
使用料及び賃借料	4,974	329	0	△ 1,304	3,999
保 険 料	324	37	0	0	361
租税公課	16,312	2,211	0	0	18,523
支払負担金	591	2,347	0	△ 2,295	643
雑 費	694	9	0	0	703
② 管理費	0	0	17,025	△ 2,633	14,392
報 酬	0	0	2,119	0	2,119
給料手当	0	0	1,438	0	1,438
賃 金	0	0	34	0	34
退職給付費用	0	0	185	0	185
福利厚生費	0	0	260	0	260
諸 謝 金	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	20	0	20
旅費交通費	0	0	4	0	4
通信運搬費	0	0	10	0	10
減価償却費	0	0	470	0	470
消耗什器備品費	0	0	250	0	250
消耗品費	0	0	21	0	21
修 繕 費	0	0	500	0	500
印刷製本費	0	0	255	0	255
燃 料 費	0	0	125	0	125
光熱水費	0	0	14	△ 14	0
手 数 料	0	0	120	0	120
委 託 費	0	0	7,000	0	7,000
使用料及び賃借料	0	0	400	△ 40	360
保 険 料	0	0	350	0	350
租税公課	0	0	100	0	100
支払負担金	0	0	3,200	△ 2,579	621
交 際 費	0	0	50	0	50
報 奨 費	0	0	50	0	50
雑 費	0	0	50	0	50
経常費用計	817,596	84,252	17,025	△ 6,302	912,571
当期経常増減額	△ 72,381	△ 3,226	△ 8,189	0	△ 83,796
他会計振替前 当期一般正味財産増減額	△ 72,381	△ 3,226	△ 8,189	0	△ 83,796
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 72,381	△ 3,226	△ 8,189	0	△ 83,796
一般正味財産期首残高	282,747	92,678	113,403	0	488,828
一般正味財産期末残高	210,366	89,452	105,214	0	405,032

(単位：千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益 事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
	公1	収1			
II 指定正味財産増減の部					
① 基本財産運用益					
基本財産受取利息	0	0	130	0	130
② 一般正味財産への振替額					
一般正味財産への振替額	0	0	△ 130	0	△ 130
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	100,000	0	100,000
指定正味財産期末残高	0	0	100,000	0	100,000
III 正味財産期末残高	210,366	89,452	205,214	0	505,032

事業 年度	自	令和4年4月1日	法人コード	A005225
	至	令和5年3月31日	法人名	公益財団法人相模原市民文化財団

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし			
事業 区分	番号	借入先	金額		用途
				円	
			円		

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		あり			
事業 区分	番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額		資金調達方法 又は取得資金の用途
			管		
管		ソフトウェアリプレイス (電子帳簿管理システム)	1,000,000	円	一般正味財産より支出
公 収	1 1	什器備品更新(施設間ネット ワーク機器)	2,000,000	円	一般正味財産より支出
公 収	1 1	什器備品取得(ポスター掲 示板設置)	1,500,000	円	一般正味財産より支出
				円	